

経営比較分析表（令和4年度決算）

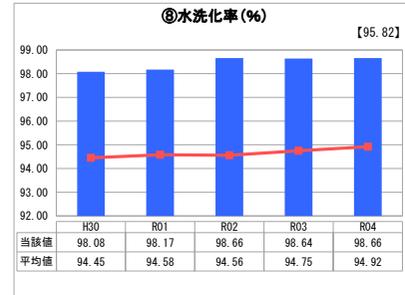
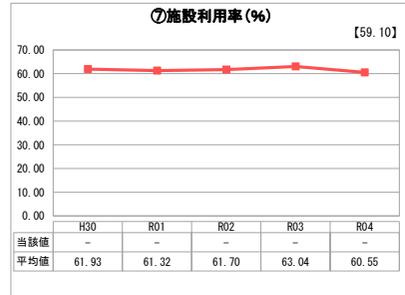
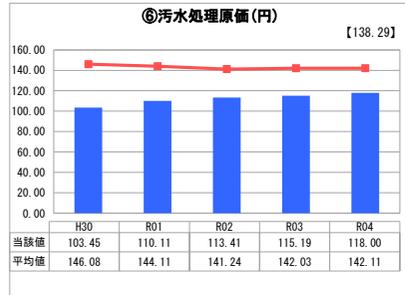
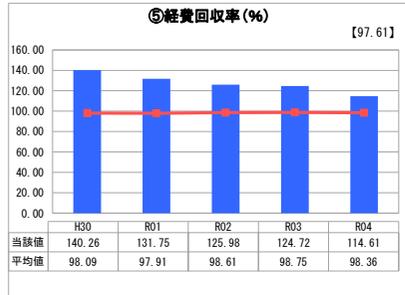
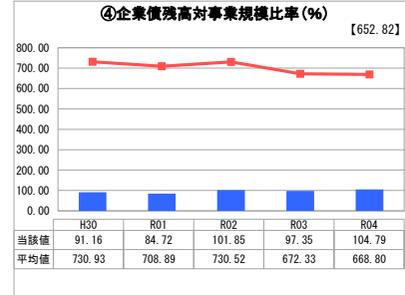
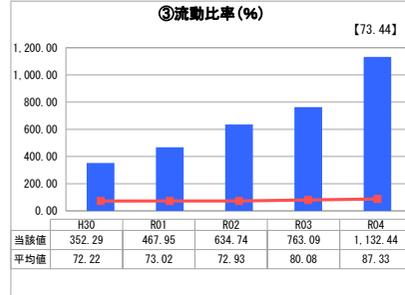
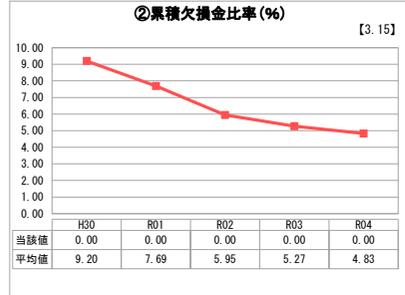
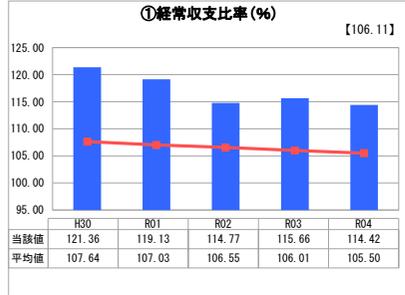
千葉県 佐倉市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Ac1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	92.71	92.13	82.37	2,472

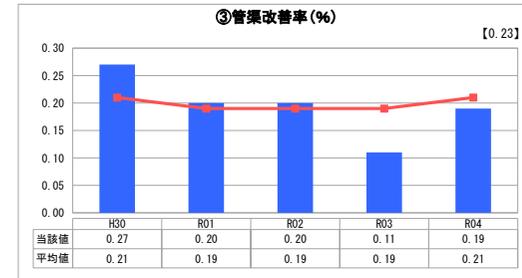
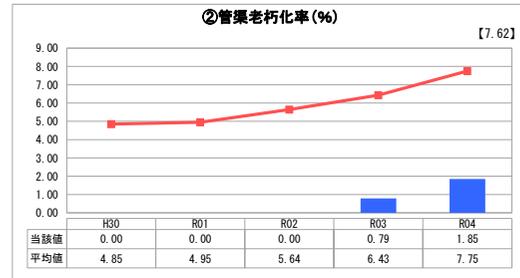
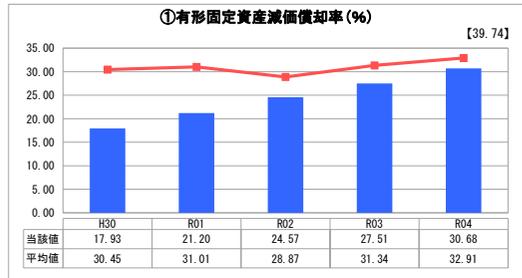
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
171,460	103.69	1,653.58
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
157,572	25.14	6,267.78

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[] 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率
100%を超え、全国平均、類似団体平均とも上回っている。
- ② 累積欠損金比率
累積欠損金の発生はない。
- ③ 流動比率
順調に上昇しており、全国平均や類似団体平均と比べて高い水準にある。
今後控える老朽化施設の更新工事に資金が必要なため、現預金を留保しておく必要がある。
- ④ 企業債残高対事業規模比率
企業債残高がもともと少ないこともあり全国・類似団体平均と比較し良好な数値を示している。
- ⑤ 経費回収率
コロナ禍における負担軽減のため下水道料金の基本料金減免を実施したことにより、前年度よりも減少している。
- ⑥ 汚水処理原価
人口減少や下水道料金の基本料金減免により、分母となる有収水量が減少したため、増加となった。
- ⑦ 施設利用率
当市は処理場を持たない。
- ⑧ 水洗化率
前年度からほぼ横ばいの状況。引き続き、佐倉市上下水道ビジョンに基づき、接続奨励などの実施により水洗化率の向上に努める。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率
全国平均、類似団体平均と比較して、当指標の数値は低いもののその差は縮まってきており、昭和40~50年代にかけ最も多くの下水道管を設置していることから、今後も増加が見込まれる。
- ② 管渠老朽化率
法定耐用年数を超えた管渠が始め、老朽化が進行している。
- ③ 管渠改善率
当指標は、ストックマネジメント計画に基づく毎年度の更新工事の状況を反映するため大幅な変動は無く、今後も推移することが予想される。

全体総括

前年比で経常収支比率は若干悪化しているものの、100%を超えを維持しており、流動比率も年々上昇している。
現時点での財務指標は良好だが、管路等下水道施設の老朽化の上昇率が大きく、今後もさらに進行していくことが予想されるため、経営状況を注視し、定期的に事業量の見直しや使用料のあり方等についての検討も図っていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。